

(記載例1)

合理的水利用の方法説明書

- 1 水管理者を定め、使用水量を記録保管する。
- 2 貯水槽（ 0m^3 ）を設置する。
- 3 水切りをよくすると共に水栓の開閉を確実にする。
- 4 配管等の漏水防止を図る。
- 5 洗浄用水は冷却用水をカスケード使用する。
- 6 排水処理施設は活性汚泥方式を採用する。
- 7 冷房用水・冷却用水（コンプレッサー）は、貯水槽及び冷却塔を設置する。
暖房用水は、ヒートポンプにより利用した後、深井戸により地下還元する。
- 8 男子小便器にはプッシュ弁をとりつける。
- 9 散水に使用するホースの末端には、手元制御弁をとり付ける。
- 10 池用水は日補給水量 0m^3 とし、循環機をとりつけ循環利用する。

(その他)

事業所は新築するので雨水涵養施設を設置する。

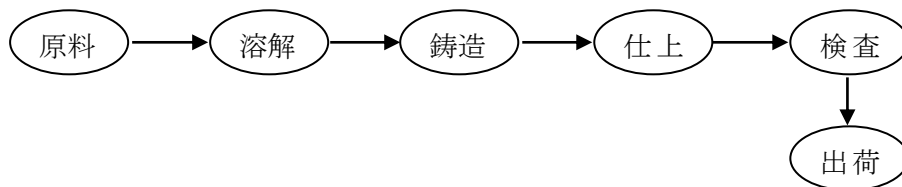
(記載例 2)

工業用水水利用フローシート記載例

(1) 生産品目

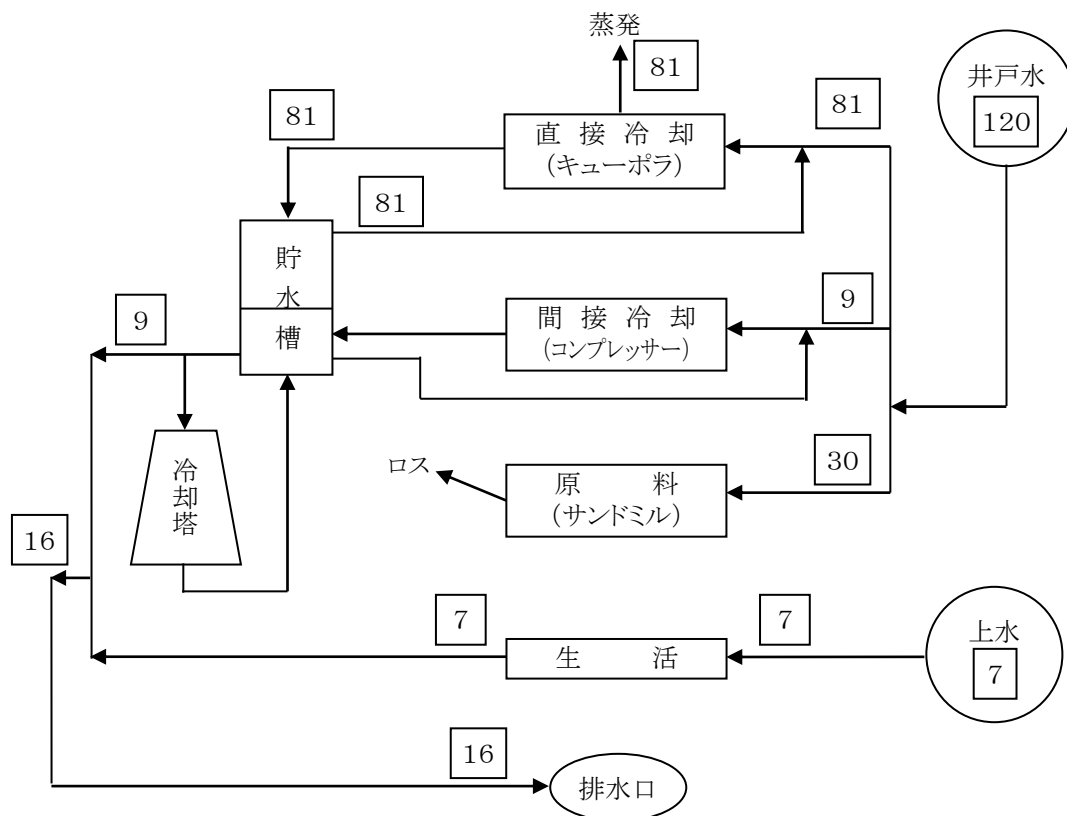
銑鉄鋳物

(2) 製造工程



(3) 水利用フローシート

([] 内は日使用水量 m^3)



(記載例 3)

ビル用水水利用フローシート記載例

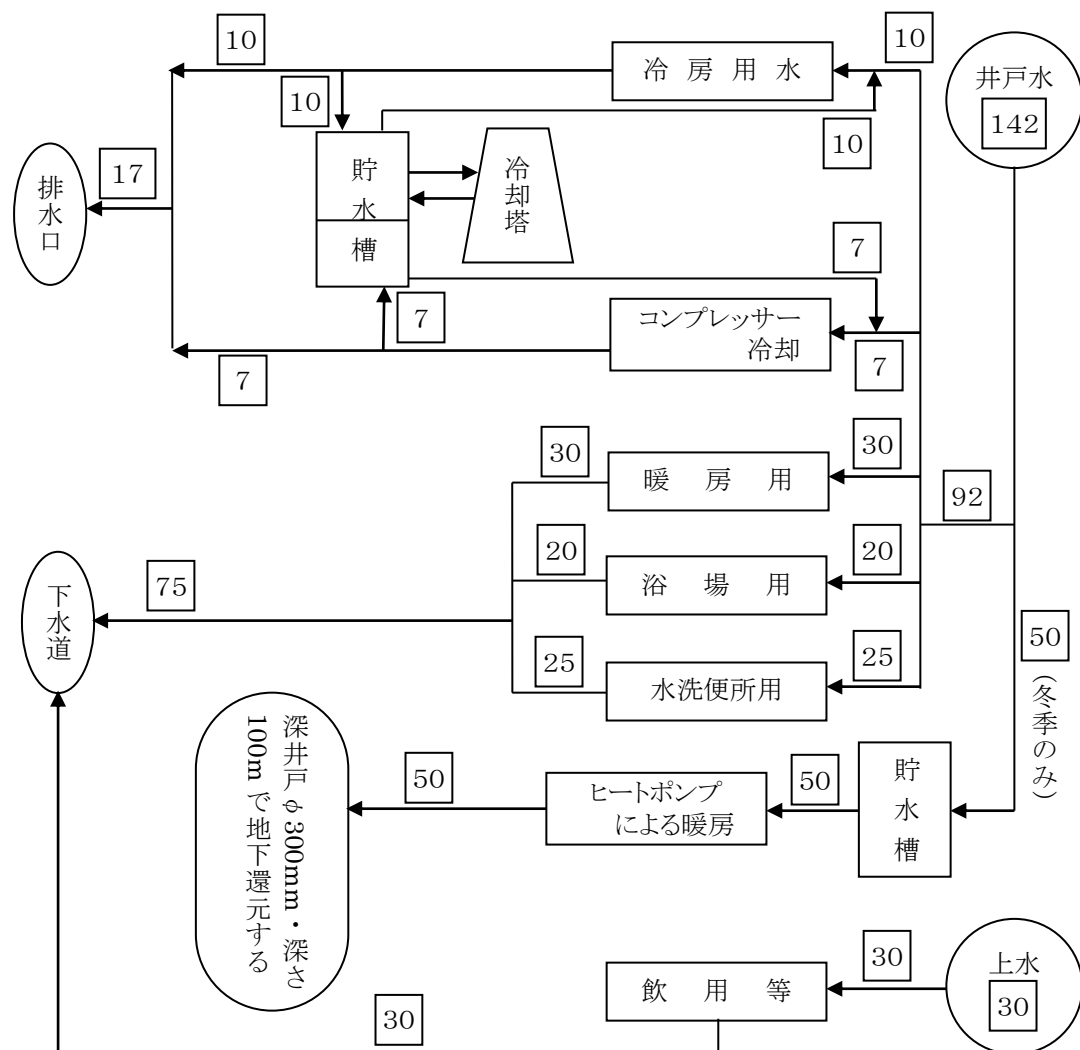
(1) 業種

サービス業 (ホテル)

(2) 従業員数 (名) 建築延床面積 (m²)

140名 , 1,500m²

(3) 水利用フローシート



(3)